

# お茶の水時代

— 思ひ出をたどる —

雨森 鈞 女史は明治三十五年四月から、大正五年三月迄、女高師附屬幼稚園の保母でした。長い間分室(本園とちがつて、幼稚園附近に住む家庭の幼児を保育した所)の保育にあたつて居られました。去年の秋から御病氣で、お世話になつた人達は、それとなく氣がゝりに思つてゐました。大變に快くおなりで、病院でも退屈な朝夕を送つてゐますといふお葉書でしたから、丁度それがお茶の水から大塚に移る頃でしたので、御氣分のいゝ時どなたかに筆記させて何かお思ひ出を頂きたいものと御願ひしましたが、その後病革り、一月には遂に逝去されました。

あとになつて先生の枕の下から、この原稿が出て來た由、吊問に參つた夜お宅の方から伺ひましたので、そのまゝこゝに掲載いたします。不十分な點があつてはならないからとて、或人に訂正をお頼みになつたさうですが、わざと、そのまゝにしておきます。

故 雨 森 鈞

幼児家庭 幼稚園の周圍數町の間の小賣商、番頭、火消、職人、労働者等の一家總動員で働くさいふ程度、從て幼児も獨立心強く一人でさつさゝ通園しても來るし何事によらず家庭と幼稚園との連絡がまれて居た事。

幼児は 身體強く實務に馴れて居つたが神經系統に缺陷の有る者も多少あり、又一般に見聞が狭かつたやうでもあつたがお茶の水の園兒である事を誇らし學校と保母とに信賴する事深く特に本園のすべてに敬意を表して居た事。

園舎は 男子師範の炊事室か何かのあとで近くに浴槽の跡もあり大人用の便所も其儘あり築土の上からたちの生垣や権の木の太木もあり廣い草原を越えて東南に本校の農園があつて虞美人草やトマト等が澤山作られてあり、遙聖堂寄りに弓場があつてこの丘には數十株の老木が茂つて居り園舎の前は小學校の花壇を隔て、小學第三部を向き合つて居ました。

設備としては 軒下に三尺に六尺位の二ツのフレーム兼花壇裏の堀際に砂場をかけるはつし式のブランコがあり、屋外水道栓があり、タ、キの流しがあつて金魚位は飼へるやうに壺を伏せてあり、汲入式の水槽があつて手洗はそこでして居ました。

此花壇や砂場は保母の幼児を實習科生に力になつた物でした。

室内は一室きりで遊戯室兼保育室であり保育用具も至つて少かつたけれども天地自然の恩恵により人間社會の小さい軌範に拘束さるゝ事なく彼等の程度にふさはしい場處を與へられて比較的朗であつた事を忘れ難く思ふ者であります。

保育の内容としては 頻りに園外保育を試した事天然物廢物等の利用を盛にした事兎や小禽類を小笠原家の姫君から寄附されてそれ等親しましめ兎の花や粟等を幼児が買ひに行つたり其姫君のお邸から四季折々の花卉や玩具や樂器等届けられ或は一部の成績物を觀察したり、雛祭りを見たり花壇の豆バラの花を頂いたりして高尚なる趣味を養ふ事子供らしい作法を教へられて親も子も嬉しがつた事でした。

素質と境遇に應じて特質は何處迄も延して不足な處は補導して靜に教へるやうにしたので子供ながらに眞面目に何でも爲さうとし感謝して三年の保育を了つた子供もあつたに存じます。

保母も實習科生も教生も勤勞又勤勞、質實に純朴に身を以て範を垂れる事に一生懸命でしたので或學者肌の教生は何の爲に高等教育を受けたのか解らぬにて分園の教生になるのを安く買はれたと誤解した程でした。

其後其園舎は本校の家事科の實習室となり、分園は幼稚園第二部を改稱されて昔の通り裏門に近き三間に四間の木造の一棟を本園の小使室に近き一室に收容される事となつて、専屬の遊具は砂場をブランコ小道具だけとなつたが、遊戯室は本園と一緒にピアノ音に浮き立つやうになり天然物は梧桐や銀杏の實を採收するの藤の葉柄を拾ふ事に限られて保育の内容も幾分手技手工を多く加ふるやうにはなつたけれど、兎に角經費少くして最も將來ある方法を講じて居つた事でしたが、今から見れば階級の念が顯著であつたかも知れません。何故かなら、一部を二部と接近すればする程教生の中にてさへ、二部を好まぬ人もあり、幼児自身も一部の幼児を見て一部の方を尊稱し一目も二目も置いて居た事は事實でしたから。そして實際、生活戦線の闘士でなければ勤まり兼ねる激賊でしたから。

保育實習科第一回卒業生(明治十三年頃)

小林 とし

長き歴史を有する御茶の水幼稚園の新舎に移轉の事は慶賀に堪えぬ事と存じますが、願れば永き年月、此懐かしき園舎庭園並に小さき芽生が今は大やうに樹木を成りし此光景を視ては情に於て忍び得ざる事と存じます。然し新園舎に向ては大なる希望に充ちた思ひを荷ひ多くの幼稚園に模範を御示しに成る事をおよろこびしてお待ち申して居ります。

授私共の思ひ出さ申しても餘り長く生きたるゆへ何も記憶に残るものにては御さいません。さりさめて記する程の事も御さいませんが、一二を記しますから御取捨を願ひます。

明治十一年三年の頃は幼稚園を理解して居る者は少數故從て貴顯富豪の子女のみたりし。保育はフレーベルの二十恩物にして唱歌は雅樂所作なるが故に幼児に興味薄く自然言葉が六ヶ敷幼児には至難なりとお思はれました。

十二年よりはメイソン先生の唱歌により少しく興味を添へた感もありたり。然し是も幼児に於ての作に非らざれ